

ICT通信



令和4年4月18日
No.3
ICT環境研究開発委員会
(文責 鈴木瑞穂)

昨年度は、先生方のご理解とご協力をいただき、ICT環境の整備や利用規程などのルール作りを進めることができました。また、ICTを活用した授業実践に取り組んでいただいたことで、学校全体のICT活用のレベルアップに繋がったと思います。

今年度も、日々の授業づくりに積極的にICTをご活用いただき、先生方の実践を共有していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

特別支援教育センター教育研究（ICT）のアンケート結果より、ICTを活用することでより効果的と考えられ、本校が取り組む必要がある学習場面でのICT活用についてお伝えします。

表現・制作

マルチメディアを用いた資料・作品の制作



- ・アニメーション制作
- ・レポート作成

発表や話し合い

グループや学級全体での発表・話し合い



- ・資料や作品の提示
- ・資料等の拡大、比較

協働での意見整理

複数の意見・考えを議論して整理



- ・資料や意見をリアルタイムで共有

ICT活用の視点

(令和3年度 特別支教育センター研究発表会資料より)



インプット

- ・授業で注目すべきことをはっきりさせる。「何を見て、何を知るか、どこを見て何を考えるか」



思考・判断

- ・主体的な操作などによる実感を持った発見や気づき。
- ・思考の深まり。



アウトプット

- ・自分の考えを自分に合った形で表出し伝える。
- ・他者の考えを知ったり、比べたりする。
- ・さらに、形にする。



「何のために、どの場面で、どのように使うか」を明確に！



主体的・対話的・深い学びにつながる

話し合いや意見整理には、デジタルホワイトボード（jam board）がお勧めです。ぜひご活用いただき、使ってみた感想や成果などをお聞かせください。他にも有効なICT機器やアプリがあれば、教えてください。